

企業名： アルコニックス株式会社

1. この会社が目指す姿が理解できるか

アルコニックスの企業理念としては「非鉄金属の取引を通じて、新たな価値を創造し、社会の発展に貢献する。」というもので、経営理念は「法令・企業倫理を遵守し、公明正大かつ透明性の高い経営を行い、誠実で信頼されるグループ絵成長する」、「株主、取引先、従業員、地域社会との良好な関係を維持し、よき企業市民としての責務を果たす」、「3R (Reduce、Recycle、Reuse) 関連事業を中核として、資源循環型・環境配慮型社会の発展に貢献するとともに、新たな環境親和型ビジネスの創出に挑戦する」、「高い専門性を持つ人材の育成を図り、活力あふれ、洗練されたグループを目指す」という4つである。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

アルコニックスの競争優位性はこの統合報告書から読み取ることができる。アルコニックスは非鉄金属業界・事業環境における知見、培われたネットワークすなわち知的資本と社会関係資本を有しており、また、M&Aのノウハウ（人的資本・社会関係資本）や市況変動に強い安定したポートフォリオも有している。それらによって商社流通機能が活性化され売上高の向上につながったり、製造機能の活性化から収益性の向上につながったりしている。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

アルコニックスの競争優位性にM&Aのノウハウがあったが、これを通して事業を拡大してきた。アルコニックスは関連のあるモノづくりの技術を持つ企業やニッチな分野で強みを持つ企業をM&A先として重視しており、それらの相手企業を成長させるノウハウも積み上げてきた。2018年までは収益性を追求し、グループとしての拡大を目指しながらM&Aを行ってきた。その結果、M&A業界ではアルコニックスの知名度は上がり、好条件で買収を行えるようになった。しかし、異業種の企業がこれ以上増えるとつながりを構築するためにはより多くの資本が必要になってくるため方向転換を図った。今後のM&Aの方針としてはアルコニックスの強みを活かせ、かつ長期的な発展が期待できる自動車、半導体、電子材料の3つの市場を視野に入れるというものである。育成を重視したM&Aから事業化投資を重視したものへ変換することで競争優位性には持続性があるといえるのではないか。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

かつて総合商社では画一化された人材が求められる傾向があり、多様性に乏しい業界であった。また、転勤や海外勤務などの必要性から女性が長く働くには適していないという考え方であった。しかしながら、現在のアルコニックスは変化の激しい市場に対応するため新たな人事制度を取り入れている。経営の多様性を推進するため取締役8名のうち3名を社外

取締役、1名を女性という体制にしている。経営陣が多様化していることで企業全体も多様化していくと考えられ、人的資本の価値は向上していくと考えられる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

基本的には会社の概要やSDGsへの取り組みなども記載されており、わかりやすいものとなっていると感じた。

サステナビリティに関してのページではアルコニックスの環境への取り組みがインタビューとの対話形式で記載されていたが、どうしても会社側の主観的な意見になり根拠が弱いように感じてしまうため、より客観的に、データを示して記述するのもよいと思った。